

環境 | 環境マネジメント

グループ共通の環境基本理念・環境基本方針のもと、事業による環境負荷の低減と環境にやさしい製品の開発に努めています。

基本方針・体制

2001年に制定した環境基本理念・環境基本方針をグループで共有し、地球環境委員会の主導のもと、環境保全活動に継続的に取り組んでいます。

環境基本理念

私たちは、曙の理念とakebono 21世紀宣言に基づき、21世紀の社会と環境に貢献する新しい『価値』を提供し続けます。また、地球の一員として地球規模の環境保全に努め、環境と調和した安全で豊かな社会の発展に自主的・継続的に取り組みます。

2001年制定

環境基本方針

1. 製品の開発・設計段階から安全と環境保全に配慮した取り組みを積極的に行い、環境負荷の少ない技術開発・商品開発を推進します。
2. 省エネルギー、省資源、廃棄物の削減およびリサイクルの推進など、循環型社会構築のための継続的な環境負荷低減に向けて、全社員一人ひとりが努力します。
3. 国内、海外を問わず、環境にかかわる法律・規制・協定などは当然のこととして遵守し、さらに自主管理基準を制定して環境管理レベルの向上に努力します。
4. 私たちの環境保全に関する取り組みがより広く理解されるよう、積極的な情報公開を行い、地域社会との協調を図り、より良い生活環境を実現するために努力します。

2001年制定

環境・社会マネジメントシステム

地球環境委員会

事務局

研究・開発部門

技術環境部会

分科会

- SOCフリー
- VOC削減
- 表面処理技術
- LCA/PTR推進

生産部門・生産技術

生産環境部会

分科会

- 物流環境
- 3Rリサイクル
- CO₂削減プロジェクト
- ゼロエミッション

調達部門

グリーン調達部会

分科会

- グリーン調達推進

管理部門

人と社会の環境を考える部会

分科会

- 地域・社会の交流促進
- すべての社員の働きやすい環境づくり

分科会

AKEBONO REPORT

※ SOC(Substance of Concern)：六価クロム、鉛、水銀、カドミウムなどの環境負荷物質。

※ VOC(Volatile Organic Compounds)：揮発性有機化合物。トルエンやキシレンなど、人の健康への影響が懸念されるオキシダントや浮遊粒子状物質の発生に関与していると考えられている物質。

※ LCA(Life Cycle Assessment)：製品の一生(原材料の採掘、製造、使用、リサイクル、廃棄)を通じた環境影響の分析と評価。

※ PTR：環境汚染物質排出・移動登録のこと。日本では1999年に法制化され2001年に施行(特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法：PTR法)。

※ 指定物質を一定量以上取り扱う事業所に対し、行政への届出が年一回義務付けられています。

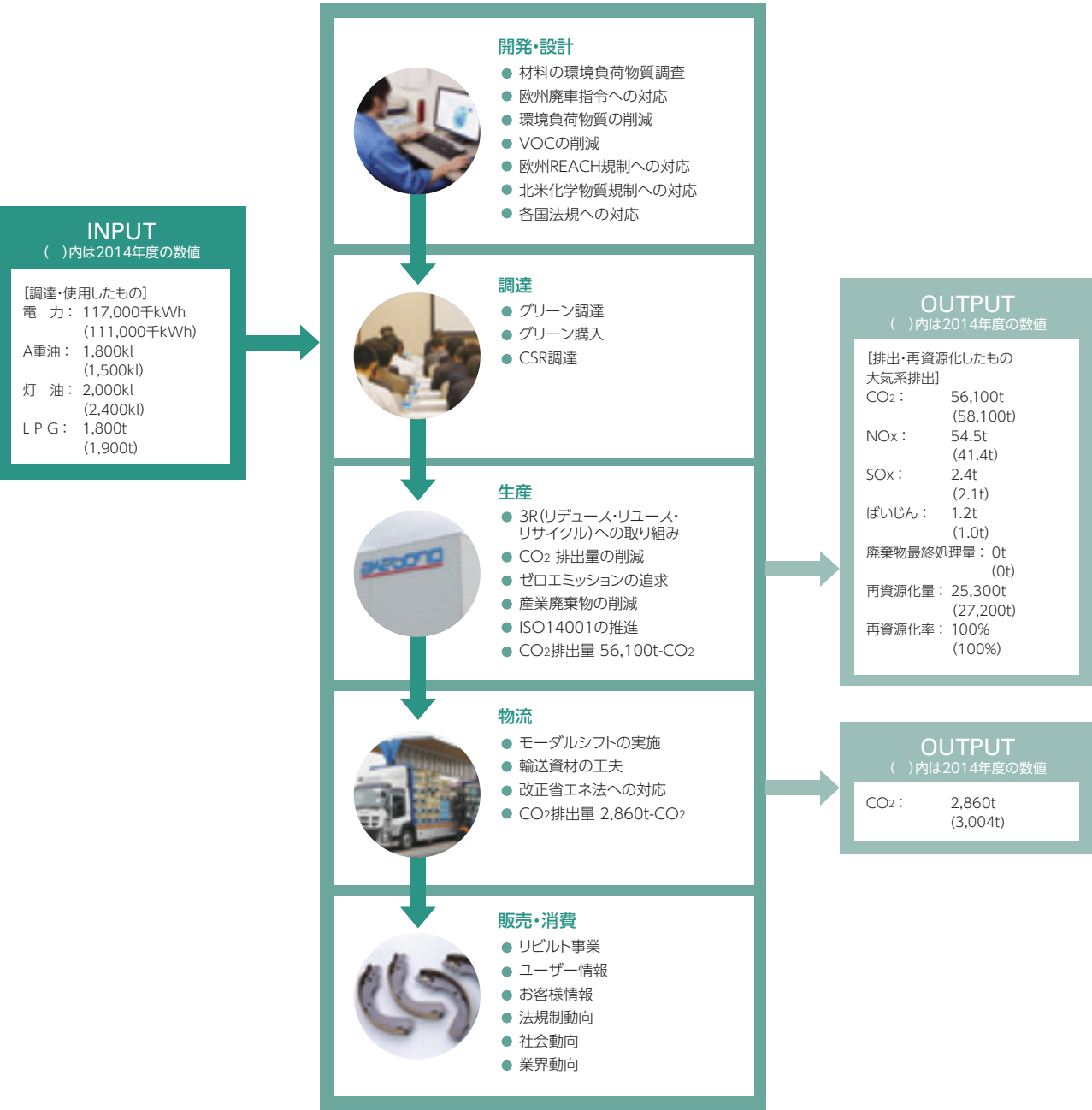
※ 3R：Reduce(省資源化)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)の頭文字をとったもので、循環型社会構築のための企業貢献を目指しています。

※ ゼロエミッション：1994年に国連大学が提唱した、廃棄物の有効活用によって、廃棄物を一切出さない資源循環型社会システムのこと。

※ グリーン調達：グリーン調達製品の製造に必要な資材や副資材を対象に、より環境負荷の少ない製品を優先して購入する活動です。

環境 | 製品のライフサイクルと環境負荷マスバランス

開発・設計から回収、再生にいたる製品のライフサイクルのすべての段階において、環境負荷の低減に向けた取り組みを実施しています。



※ マスバランスとは、ある材料・素材等の発生から利用、排出、回収、再資源化、リサイクル・リユース、適正処理までのライフサイクル全般にわたる量的バランスのこと。

※ NOx、SOxおよびばいじんは法規制対象設備からの排出量の総計です。

※ マスバランスの集計範囲は、次の5拠点です。(山形、福島、館林、岩槻、山陽)

※ REACH (Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicals)：化学物質の登録、評価、認可、および制限に関する規則